これからの東京を話そう

こ ど も ワ ー ク ショップ で 話 し 合 っ た こ と

未来の東京

2024年8月25日(日) 実施



今後のアクションに

聴いた意見はみなさんから





これからの東京を話そう

こどもワークショップで話し合ったこと

話し合いをビジュアル化する
「グラフィックレコーディング」で、
子供たちの意見やアイデアを
まとめました。



未来の意意

「開催日] 2024年8月25日(日) 「場所] 日本科学未来館

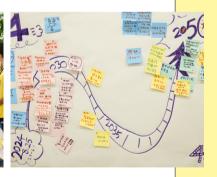
よりよい東京の未来を選えるため、 子供たちが恵い描く理想の東京や、 25年後の東京のアイデアについて一緒に話し合ってもらいました。 みなさんの声と、その声をもとにした 東京都の取組や受け止めを紹介します。

みなさんに聴いたこと

- ✓ 自分の考える理想の東京
- ✓ 自分が都知事だったら25年後の 東京をどんなふうにしたいか







ワークショップの流れ



ツアー

日本科学未来館を 見学しました。

2 話し合い

グループになって 自由に意覚を出し合いました。

3 みなさんの声

縦に書き出して、いろんな意見が 見えるようにしました。

発表

らかで考えたことや グループで話し合ったことを みなさんに伝えました。

声を届ける

東京都の職員に、みなさんの声を 届けることができました。





















10



みなさんの意見やアイデア

✓ 子育て について

地域全体で 子供(赤ちゃん)を育てる(ぷ)

産休を増やす、子供が大きくなっても 休みやすくする。お父さんも休めるように、 産休を取りやすい空気が必要(小5) 親にも息抜きが必要はあ

子供が増えてほしい (添)

子育てにお金がかからないようにする。

子供は育てるのにお金がかかかるから、 産むのをあきらめちゃう人が多い(小5)

東京都の受け止め



字育でにはおきがかかったり、慣れない家事や育児に不安を感じる人もいます。そのような悩みを解決するため、字育でにかかるお金を少なくするための支援や、お父さんも育

業には、はいれば、かいなが、からした。 業に、「有児体系の愛称が、をしやすくする ための取組などを進めます。みなさ んが安心して子供を産み育てること ができる東京を自指していきます。

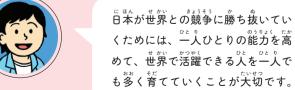
✓ 教育について

英語教育を高める

子供や大人に関係なく、 **色々な経験**をできるようにしたい(小5)

オンライン教育を使ったらいい

東京都の受け止め



そのために、AI、デジタルを使った デッマン を使った デッマン を デッマン で デッマン で デッマン で デッマン で デッマン で デッタルを使った で デッタルを使った で デッタルを使った で デッタルを増やす取組 などを進めていきます。



✓ 緑 について

緑が増えてほしい

(小5)

東京ジャングル化

自然を増やして、

きれいなまちになってほしい (ぶる)

大きな公園がほしい

東京都の受け止め



線は、私たちの遊ぶ場所、競いの場としての役割はもちろんのこと、色々な生き物のすみかともなります。また、街から出る二酸化炭素を吸ったり、夏の暑さを和らげたりして、「作みやすい環境を介ってくれます。

このように、緑がたくさんあることは、みなさんの生活にとても良いきをうえます。東京都では、今ある緑をまもる取組や、公園の整備やまちづくりにより緑を育てる取組を共進めていきます。

マ テクノロジー について

手が離せないときに お手伝いロボットがいるといい (が5)

日本科学未来館ツアーで見た ロボットが、思っていた以上に発達してた ロボットが買い物しちゃうかも (小人) メタバース (仮想空間) で、 場所・障がい・性別・存齢 関係なく働ける (添)

東京都の受け止め



みなさんが日本科学未来館で見たロボットのように、テクノロジーはすごいスピードで進化しています。東京都では、テクノロジーを徹底的に活動し、もっと値利で快適なまち

を創指していきます。そのために、 AIなどの新しい技術を様々な場面 で活用したり、人が運転しなくても 動く自動運転の乗り物や空飛ぶクルマを実現するための取組を進めます。





環境・ゼロエミッションについて

バスや車が水素で動く

暑い日が多すぎる。 暑くなくなってほしい(ホネム)

東京も日本も世界も 二酸化炭素ゼロにする

太陽光エネルギーで 発電するは



東京都の受け止め

今世界では「地球温暖化」が進ん でいます。東京でも、突然の大雨や とても暑い日が増えるなど、生活に 影響が生じています。東京都では、 この主な原因である一酸化炭素排 出を2050年までに実質ゼロにする

「ゼロエミッション東京」を目指し ています。そのために、太陽光発電 などの再生可能エネルギーの利用を ゅう 増やしたり、みんなが無駄なく上手 にエネルギーを使う「省エネ」を進



災害に強いまち

災害で死者が出ないまち

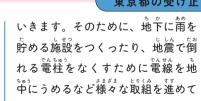
災害を感知して(自動で) 堤防が出てくる(歩)

地震の防災グッズを提供。 若者が喜ぶものだといいと思う(歩4)



東京都の受け止め

大雨の回数が多くなり、その激しさ も増しています。また、地震はいつ [‡] 記きてもおかしくありません。こう した災害から、みなさんの命を守り、 もっと安全で安心なまちをつくって



ワークショップの感想とお礼



みんなの意見が聞けて、 たしかにそうだなと思えて、おもしろかった。はら

色々な意見が分かり、着えることができた。

東京や国の問題について 深く具体的に考えられる機会はあまりないから、 この体験を大切にしたい(赤)

黄京都のまとめ

「未来の東京」へのたくさんの自由 なアイデアをありがとうございまし た。みなさんのアイデアも反映して、 2050年代の東京の姿などをまとめ た「2050東京戦略」をつくりました。 こどもワークショップの様子も紹介 していますので、ぜひご覧ください。 今回は、25年後の東京について話 し合ってもらいましたが、東京都で は、AIを活用して、もっと続の100 なんご とうきょう ならいよぞく きごな 年後の東京の未来予測を行いました。 おもしろいアイデアが「22世紀の 予言」にありますのでご覧いただき、 東京の未来を想像してみてください。





22世紀の予言



ワークショップの概要

テーマ

未来の東京

ないよう

東京都は、削るい未来の東京を切りひらくための取組を進めてい ます。時代の変化に対応するため、子供たちから意見を聴き、取 、 網について検討していくためのワークショップを開きました。

集まってくれた人数

小学牛 (4~6年):16名

日時

2024年8月25日(日) 13時から16時まで

日本科学未来館

担当信

世のまく ま かくきょく 政策企画局



こどもワークショップってなに?

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。 こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが 意見を出し合う場として開催しました。 東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。 子供の権利が大切にされ、みなさんが幸せに過ごせるように

● 子供を権利の主体として尊重

| 子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。 大人は、子供の意見にしっかり向き合います。



東京都は、学校や水道、病院、道路、公園 等によってみんなの暮らしを支えたり、社 組んでいます。そして、子供のための取組 を考えるときには、主役であるみなさんの 意見を大切にしたいと考えています。 東京都は、これからもいろいろな方法でみ

なさんの思いや考えを聴いて、政策に積極 がに取り入れていきたいと思いますので、 これからもぜひご意見をください。

> 東京都こどもホームページに 国民な 回 みなさんの声が 掲載されています



令和7年3月発行 印刷物規格表 第3類 印刷番号(5)101

→ 東京都

[編集・発行]

東京都子供政策連携室 企画調整部 企画調整課 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番地1号

電話:03 (5388) 3812

E-mail: S1110301@section.metro.tokyo.jp

